

一般質問通告書(令和6年6月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	戸 匹 映 二	<p>1. 聴覚障がい者や耳が聞こえづらい人の支援について</p> <p>2. 地域コミュニティ活性化への対策について</p>	<p>(1) 電話リレーサービスについて</p> <p>① 聴覚障がい者などの人と、それ以外の方との電話での会話を通訳オペレーターが「手話」または「文字」と、音声を通訳する電話リレーサービスが公共インフラとして提供されているが、認知度が低い状況にある。 公共施設や商店・事業所等へ電話リレーサービスの周知を行い、法人登録案内などを含め、日常から利用しやすい環境づくりを推進していただきたいが如何か。</p> <p>② 聞こえる人(市民)にも、電話リレーサービスの仕組みがあることを、周知していただきたいが如何か。</p> <p>(2) 耳が聞こえづらい人の支援について</p> <p>① 「第3の聴覚経路」と言われる軟骨伝導を応用したイヤホンが日本で開発され、「よく聞こえる」ということで、自治体の窓口や金融機関・病院などで設置が広がってきている。 白杵市においても、庁舎等の各相談窓口などで軟骨伝導イヤホンを設置して、耳が聞こえづらい人への支援に活用していただきたいが如何か。</p>		
2	河 野 巧	<p>1. 児童生徒の通学時に関する安全・支援対策について</p> <p>2. 旧県立野津高校跡地について</p> <p>3. 市営パークゴルフ場について</p> <p>4. 合併20年の課題と成果および今後について</p>	<p>白杵市では市内の児童生徒が安心・安全に通学できることを目的に、白杵市通学路交通安全プログラムを策定し取組を行っていることと認識しています。その一環として、関係機関をメンバーとする白杵市通学路交通安全推進会議も設置されています。検討課題としては、交通安全指導、交通ルールの遵守、周囲の状況に注意して通行する方法を教えるソフト面と通学時の安全対策や交通手段の選択、例えば歩道の設置・拡充・草刈り、通学路の補修、防護柵の整備や区画線の設置、路肩のカラー舗装、児童生徒に対する安全対策としてのハード面の整備などが考えられます。遠距離通学児童生徒への対応を含め、児童生徒の通学時に関する安全・支援対策についての現状と今後を伺う。</p> <p>(1) 白杵市通学路交通安全推進会議で出た意見に対する検討及び対策の現状並びに公表(保護者への周知を含む)について</p> <p>(2) 統廃合した地域を含めた遠距離通学児童生徒の保護者への支援について</p> <p>旧県立野津高校跡地の利活用事業が失敗に終わり、その後、再活用に向けた取り組みが行われています。失敗後の経過と対応、再活用の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 失敗した利活用事業及び事業者の負債額の対応等現状について</p> <p>(2) 再活用の方針及び取り組みについて</p> <p>本年9月1日より白杵市パークゴルフ場が市内久木小野地区にオープンすることが告知されました。運営方針や収支のバランス、市民が利用しやすい環境整備等に関する市の考えを伺う。</p> <p>(1) 運営方針及び運営に関する市民の意見聴取の方法や意見に対する市の対応と意思決定について</p> <p>(2) オープンまでの経費や運営収支の見込みとその対策について</p> <p>(3) 市民が利用しやすい環境整備等について</p> <p>(4) パークゴルフ場新設による白杵市の活性化及び経済効果について</p> <p>令和7年1月1日で旧白杵市と旧野津町が合併して20年が経過します。平成17年の合併当時と比べ、人口は約1万人減少しました。白杵市としてこの20年間の住み心地一番の取り組みについての検証および課題と成果、今後について伺う。</p> <p>(1) 白杵市全体及び旧白杵市と旧野津町のエリアにおける人口減少(少子化及び若者減少の現状含む)について</p> <p>(2) 市民へのアンケート調査の結果と市のその分析について</p> <p>(3) 記念事業等の内容と費用、実施することで得られる成果について</p> <p>(4) 市長が考える20年間の住み心地一番の取り組みについての検証内容及び課題と成果並びに今後10年後の白杵市に期待できる現在の取り組みとその内容について</p>		

一般質問通告書(令和6年6月定例市議会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
3	芝田 英範	1. 旧野津高校跡地再活用について	(1) 敷地・施設の再活用方針について (2) 今後の具体的な再活用方法について		
		2. 地籍調査について	地籍調査は国土調査法に基づく「国土調査」の一つとして昭和26年より実施されています。現在、令和2年5月に閣議決定された第7次国土調査事業十箇年計画に基づき実施されています。 白杵市でも、旧野津町では平成7年から、旧白杵市では平成14年から取り組んでいます。 (1) 地籍調査の必要性について (2) 地籍調査の進捗状況について ① 地籍調査の調査内容について ② 県下の状況について ③ 今後の進め方について		
4	安東 鉄男	1. 本市合併20周年を迎え、記念式典等の開催と今後の賑わいづくりについて	今年度は、旧野津町と旧白杵市が合併して20周年を迎える。合併にあたっては、県が示した枠組に捕らわれることなく、それぞれの市と町が将来に夢と理想を抱き、相互理解を深めたのちに合併を行ったものと私は認識している。しかしながら、20年前と今とは社会を取り巻く状況も大きく変わり、とりわけ少子高齢化による人口減少は、日本国全体はもとより、本市においても大きな課題となっている。このような中、合併20周年にあたり、市民の方々が、「合併してよかった。」、「白杵市民でよかった。」と思えるよう、「将来に向かって夢と希望をもていただく」ことや、「街に活気や賑わいを創り出す」ことは、非常に大切なことだと考える。 そこで、以下の項目について伺う。 (1) 「合併20周年における記念式典」等の開催に向けた概要や進捗状況について (2) 今後の街の賑わい創出について		
		2. 白杵市パークゴルフ場のオープンについて	令和5年白杵市議会9月定例会において、白杵市パークゴルフ場条例が制定され、パークゴルフ場整備後の運営に必要な基本事項や使用料などを定めた。 その後、全体の整備事業も進み、芝生が張られ、管理棟が建設される等、着実に準備がなされているものと推察する。 また、毎月の市報にも工事の進捗状況やパークゴルフに関する様々な情報が掲載され、市民からは「早くプレイしてみたい」といった声もあがっており、出来る限り早期のオープンが望まれている。 そこで以下の項目について伺う。 (1) パークゴルフ場の9月オープンに向けて、コースの芝の育成状態は (2) オープンに向けた準備の状況はどうか。 ① オープニング式典等の開催予定は ② オープンに向けたPRや周知方法は ③ 市役所内での検討体制は (3) オープン後の利用促進策として、どのような取組みを考えているか。 ① オープン後の集客対策は ② 会員権の販売促進策は ③ 夏場の暑さ、熱中症対策(日陰の確保等)は ④ プレイする以外の活用方法の検討は		
5	奥田富美子	1. 若年層の定住政策について	(1) 白杵市在住の独身の若年層が一人暮らしをする際の家賃補助がありません。親元から自立する際、白杵のアパートの家賃が高いので白杵市を出て、比較的家賃が安い近郊の市へ転出の傾向があるのでそれを防ぐためにも、移住政策に並ぶような白杵市在住の若年層のサポートの充実を求めます。		
		2. 白杵市に住む外国人対象の日本語習得のためのサポートについて	(1) 小中学校で日本語指導が必要な児童生徒に対してどのように対応していますか (2) 外国人就労者が日本語を学ぶことができれば国際交流が図られ、お互いの安心につながると考えます。 今後白杵市が日本語教室などを開設するお考えはありませんか		
		3. 商店街の空き店舗対策について	(1) 白杵市中央通り商店街に空き店舗が目立つようになりました。現状と対策についてお尋ねします。		
6	甲斐 尊	1. 広域交通網の整備に伴うまちづくりについて	(1) 白杵市と市外、県外をつなぐ高規格道路網整備の状況と今後の見通しについて (2) 高規格道路の整備後を見据えた地域の振興につながる環境整備のあり方について		

一般質問通告書(令和6年6月定例市議会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
7	平川 幸司	1. 市民サービス向上につながる市役所の体制の在り方について	(1) 職員の働き方について ① 業務のあり方について ② 組織について (2) 人員確保について ① 退職者について ② 採用状況について		
		2. 放課後等デイサービスについて	(1) 白杵市の現状と課題について ① ニーズについて ② 必要性について ③ 施設が増えない理由について (2) 白杵市の今後の取組について		
		3. 漁業振興について	(1) 漁業従事者について ① 現状について ② 担い手について ③ 支援(助成等)について (2) ユネスコ食文化創造都市としての漁業振興について ① 現状と課題について ② 今後の取組みについて		
8	匹田久美子	1. 脱炭素(温暖化対策)の取り組みについて	(1) 白杵市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について ① 策定に至った経緯と経過 ② 市民への啓発 ③ 事業所への啓発や連携の進め方 ④ 計画推進のために、市内関係機関で横断的に取り組むとされる「脱炭素推進協議会」の立ち上げについて (2) 公共施設における脱炭素の取り組み ① 公共施設の太陽光発電設備や蓄電池の導入について ② 公用車としてのクリーンエネルギー自動車の導入について ③ 公共施設の新設や建て替えの際に建物をZEB化することは想定しているか (3) ごみ減量化対策について		
		2. 白杵市らしい学校給食の推進について	(1) 給食費について (2) 学校給食における「米飯」のあり方について (3) オーガニック給食の現状や取り組み、課題について		
9	伊藤 淳	1. 白杵市DX推進計画について	(1) 令和4年6月定例会において、執行部より、本市のDX推進政策は、白杵市DX推進計画に基づき、「誰一人取り残さないDXを推進することで、住み心地一番のまち白杵を目指し、各施策に取り組んでいく」とご答弁されています。 また、具体的な内容として、「窓口のワンストップ化」「コンビニエンスストア・地域の郵便局・連絡事務所・地域振興協議会の拠点でも手続きや相談が可能となる」「職員の勤務場所も業務内容に関わらずどこでも可能となる」ともご答弁されました。そこでお尋ねします。 ① 具体的な内容として示されたことなど、白杵市DX推進計画の進捗状況を教えてください。 ② 白杵市DX推進計画は令和6年度が最終年度となりますが、今後の取り組みを教えてください。		
		2. 地域振興協議会の活動への支援について	(1) 令和5年9月定例会にて、地域振興協議会への支援について質問し、活動に役立てるためのガイドブックを作成しているところであり、各地域振興協議会へ配布予定であることなど市より回答を頂きました。また、令和5年12月には市議会から市へ、地域振興協議会への支援に関する提言を行い、本年3月には、市から補助金の増額など地域振興協議会の活動に資する回答を頂いたところです。そこでお尋ねします。 ① 地域振興協議会の活動に資するためのガイドブックの作成の進捗状況と配布方法や活用方法を教えてください。 ② 地域振興協議会への支援について、今後の取り組みなどを教えてください。		